

忠岡町子ども・子育て会議（第6回）会議概要

■日 時：平成27年10月5日（月）午後2時～

■場 所：忠岡町役場 3階 研修室1・2

■委員構成

[委 員]◎藤田委員、○高見委員、○田中委員、小島委員、萬野委員、小路委員、
長屋委員、土居委員、大谷委員、道口委員、正木委員、内藤委員、
藤原委員、伊田委員、堀委員

◎会長、○副会長

[事務局]子育て支援課 武田、二重、古川

■傍聴者数 2名

■配付資料

資料1 実績報告について

資料2 幼稚園・保育所の保育料について

会議次第

会議条例

■会議次第

1. 委嘱状の交付と委員の紹介
2. 町長あいさつ
3. 会長・副会長の選任
4. 会長あいさつ

<案件>

1. 実績報告について
2. 今後の予定について
3. その他

■会議概要

次第1 委嘱状の交付と委員の紹介

○事務局の進行により、和田町長から委員を代表して藤田委員へ委嘱状を交付（略）その後、各委員のお名前を読み上げ紹介する。

次第2 町長あいさつ

みなさん、こんにちは。只今、新しく2年間の委嘱をさせていただきました。よろしく

お願いします。日頃は、色々とお忙しい中、ご活躍されていることに對し、敬意を表します。皆様もご承知のように、この4月から子ども・子育て支援新制度が始まりました。

本町におきましても、委員皆様のおかげをもちまして、「忠岡町子ども・子育て応援プラン2015」が完成いたしました。本当にありがとうございました。

計画は、作ることも大事ですが、作った後の活用が一番大切であると考えております。計画と実績を比べることにより、どの部分が強く、どの部分が弱いのか、そういったことを明らかにすることにより、この計画を一層充実したものとすることができると考えております。

本町も色々まちづくりをしているわけですが、特に私が就任してからは教育・福祉を中心にまちづくりをしていることが大きな柱としているところであります。おかげで財政的にも見通しがつき、色々な事業を展開できております。そのような中であって、子どもがすくすくと育ち、子どもが笑えるということがひいては、大人にとっても生き生きとしてきますし、まちの活性化にもつながってくると考えております。今後も、教育・福祉の充実を目指してがんばって行きたいと考えております。

近隣の20万人都市があるために、そのような市と比べられ劣っているように思われがちですが、人口の少ない面積の小さいまちですが逆に子どもや住民を見ていきやすいということでもありますので、そういった視点で見たいと思います。

皆さんが、日頃感じていることを、忌憚なくご意見を頂戴したいと思います。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

事務局より、資料の確認と委員の出席状況の報告。委員15名中、14名の出席であり、会議が成立している旨を報告。(欠席委員：藤原委員)

次第3 会長・副会長の選任

○事務局一任との委員からの声があり、事務局提案として会長に、忠岡地区福祉委員会委員長の藤田委員、副会長に東忠岡地区福祉委員会委員長の高見委員、忠岡町民生委員児童委員協議会副会長の田中委員について提案し、委員の異議なしの声により承認された。

次第4 会長あいさつ

事務局のご指名によりまして会長という大役を仰せつかりました、藤田でございます。

会長就任にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

一昨年の10月にこの会議の委員に就任し、忠岡町子ども・子育て応援プラン2015の策定に協力させて頂きました。前会長の奥田様が引き続いて会長をしていただければと考えておりましたが、ご都合により退任されましたので、私が本日皆様のご推挙によりまして、会長をさせて頂くことになりました。高見副会長様、田中副会長様のお二方のお力をお借りして、会議をすすめてまいりますので、皆様方、どうぞご協力の程よろしくお願い致します。

本町の応援プランは、子ども・子育て支援のために今年度から平成31年度までの5年間の計画となっております。先ほど、町長からもありましたが、この5年間の計画と実績を比較検証することで、本町の子育て環境の問題点を明らかにし、より一層子育て支援の充実を図ってまいりたいと思います。

委員皆様におかれましては、以上のことを十分にご理解いただき、活発なご意見をお伺いし、有意義な会議となることをお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。

事務局:最初に当会議のこれまでの経過につきまして簡単に説明させていただきます。当会議は、平成27年4月から全国的に子ども・子育て支援新制度がスタートすることから、各市町村において子ども・子育て支援事業計画の策定が義務付けられました。それに伴いまして本町においては、平成25年10月に当会議を設置し、小学生以下の子どもさんがおられる全ての世帯を対象にニーズ調査を実施し、その回答をもとに、忠岡町子ども・子育て応援プラン2015を策定いたしました。

その間、今年の3月までに計5回の会議を開催いたしました。委員皆様には、色々とお世話になり、ありがとうございました。

本町の応援プランにつきましては平成27年度から平成31年度までの5年間の忠岡町の子ども・子育てに関する様々な目標を達成するべく策定されたもので、今後は各年度毎の実績報告、達成状況などについて会議において報告させていただき、次期計画への足がかりとさせていただく所存であります。つきましては、委員みなさまの活発なご議論をよろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ではありますが当会議の経過説明を終わります。

それでは、これからの議事進行につきましては、当会議条例第5条第1項の規定により、会長が会議の議長となることとなっております。

これからの会議につきましては、藤田会長にお願いしたいと思います。それでは藤田会長、議事進行の方よろしくお願いいたします。

案件1. 実績報告について・・・資料1に基づき、事務局説明（略）

委員:病児・病後児保育について、検討するとなっておりますが、子どもさんが病気などであれば、ご家庭でも非常に困っていると思いますので是非とも前向きに検討をお願いします。

事務局:病児・病後児保育につきましては、現在のところ本町においては実行できておりません。市外の子どもさんを受け入れてくれる施設は、現在のところ貝塚の水間の辺りにしかありませんので、その施設を紹介することしか出来ません。只今、委員さんがおっしゃられたとおり前向きに検討してまいりたいと考えております。

委員:子育てというのは、先輩からつないでいくということが大切ですので、十分に検討していただきますようお願いいたします。

案件2. 今後の予定について

今後の予定について、実績が確定するのが年度末であり、年度が変わった4月末から5月にかけて実績報告を兼ねて会議を開催する予定である旨を事務局から説明。

委員：資料1の中に、町外の幼稚園への入園者が2人となっていますが、昨年度は応援プランに26年度の利用者数が42人となっています。その原因は何かあるのですか。私立幼稚園の保育料が高いからではないのですか。近隣市においても実際に私立幼稚園の保育料を国基準の82%程度にしているところもあります。幼稚園の時は町外に行っている、小学校では忠岡町に戻ってくるということもあると思います。あくまでも入園する施設を決定するのは保護者の意思であると思いますが、そこには料金のことについても関係してくるということを考えていただいて検討をお願いします。

事務局：資料1にあります町外の幼稚園への入園者数2人というのは、施設型給付を選択されている幼稚園ということで、それ以外の私学助成のままの幼稚園には41名が通っていますので、昨年度と比べてもそれほど変化はありません。

案件3. その他について

事務局より、資料2の保育料について説明（略）

質問、意見等について
特になし

町長：現時点では、本町の幼稚園と保育所は別々であります。私としては2つの施設を1つにしたいと常々考えております。忠岡版こども園を作っていこうと日々考えております。但し、1カ所をしたいが土地もないし、多額の費用が必要であるので、難しいなとも思っています。それなら出来るところから、と考え忠岡地区、東忠岡地区と2つに分離してでもいいから、忠岡版こども園を作っていこうというのが私の思いであります。ただ、なかなか踏み切れないのは、急いではいけない、ゆっくりやっていかなければいけないということと、財政的なこともありますので総合的に判断してやっていこうと考えております。東幼稚園と東保育所については、隣接していますのでやりやすい訳で、現時点では幼保交流をしていると聞いていますので、忠岡版こども園にしやすいなと考えています。今後の幼保一元化に向けて、まずは事務局を一元化し平成26年4月から教育委員会で頑張ってもらっているところです。来年度からは、しっかりと計画を作っていかなければと考えています。耐震化については、小・中学校については100%ですが、幼稚園・保育所については2階建てということもあり、補強はしていかなければいけないと考えております。補強とこども園化とを併せて整備していきたいと考えております。27年度中には、本町の子どもの教育をどうするかということを考えていかなければいけないと思っています。来年の今頃には形をみせていかなければいけないと考えております。今後も、様々な場において、委員皆様

の積極的な発言をいただければと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひします。

会 長：町長ありがとうございます。私個人の意見ですが、各地区の集会所にお年寄りが集まってサロン形式の集会をする動きが出てきていると感じられるんですが、そういった場に子どもさんが学校から帰ってきた時に行って、お年寄りと交流をすることによって、お年寄りの知恵や遊びなんかを覚えることで子どもにとっても良い事になるのではないか、まちのムードも前向きに進んでいくのではないかなと思います。

以上をもちまして、本日の会議に提出いたしました案件は、すべて終了いたしました。委員皆様ご協力ありがとうございました。

事務局：藤田会長様どうもありがとうございました。委員の皆様方には、本日は長時間、ありがとうございました。これもちまして、第6回忠岡町子ども・子育て会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

終了時刻午後3時